

日本植生史学会ニュースレター

No.42 September 8, 2017

第 32 回日本植生史学会大会のご案内（第 2 報）

第 32 回日本植生史学会大会を下記の要領で開催します。

大会参加・一般発表の申し込みは、学会 Web サイトの「大会情報」<http://hisbot.jp/meetings/upcomingmeeting>の『申し込みフォーム』からお申し込みください。

◆ 日時

2017 年 12 月 1 日（金）午後：幹事会
12 月 2 日（土）午前：評議員会 午後：公開シンポジウム，論文賞記念行事，懇親会
12 月 3 日（日）一般研究発表（口頭・ポスター），総会
12 月 4 日（月）巡検（第 43 回日本植生史学会談話会）

◆ 会場

大会会場：宮崎県県電ホール（宮崎市旭 1-2-2）
<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/kigyosomu/hp/hall/hall.pdf>
懇親会会場：古民家居酒屋ほっこり（宮崎市旭 1-3-12）
<http://www.hokkorimiyazaki.com/blank-1>

アクセス：

JR 宮崎駅より徒歩約 15 分

JR 宮崎駅→宮交バス宮交シティバスセンター方面行き，橘通 2 丁目下車，徒歩約 5 分

宿泊：各自でお早目にご予約ください。JR 宮崎駅周辺に宿泊されると便利です。

◆ 費用（当日徴収）

参加費（要旨集代を含む）：一般会員 3,000 円，学生会員 1,000 円，非会員 4,000 円

懇親会費：一般会員 6,000 円，学生会員 3,000 円，非会員 6,000 円

※会場内では食事ができませんので，昼食は周辺の飲食店をご利用下さい。

◆ 主催：日本植生史学会

◆ 大会実行委員：宇田津徹朗（委員長），杉山真二，栗畑光博，吉田明弘，一木絵理，星野安治，江口誠一

※ 大会に関する連絡先：参加申込や要旨作成などに関するお問い合わせは，大会実行委員会（taikai32@hisbot.jp）までお願いします。

◆ 大会プログラム

12月2日(土) 公開シンポジウム, 論文賞記念行事, 懇親会

13:00~13:30 受付(エントランスホール)

13:30~16:50 公開シンポジウム(中央ホール)

テーマ:『環境と稲作と中国文明—総合稲作文明学へのアプローチ』

オーガナイザー:中村慎一(金沢大学), 金原正明(奈良教育大学), 宇田津徹朗(宮崎大学)

趣旨:平成27年より,従来の中国文明研究では軽視されてきた稲作と文明形成との関わりにスポットを当て,考古学を中心に,歴史学,文化遺産学,社会学,地理学,植物学,動物学,人類学,農学,地球化学,年代学等を専門とする多彩な研究者が一丸となり,「総合稲作文明学」という新たな学術領域の創成に取り組んでいる。ここでは,この2年余の取組の概要と環境・稲作・植物利用に関するこれまでの成果を紹介する。

趣旨説明:「稲作文明と植物利用」

中村慎一(金沢大学)

話題1:「古環境の変遷と動・植物利用の初段階」

金原正明(奈良教育大学)

話題2:「長江下流域・良渚文化期における堆積環境の変化と埋没水田探査」

田崎博之(愛媛大学)・宇田津徹朗(宮崎大学)

話題3:「中国初期稲作民の食文化と環境適応—浙江省田螺山遺跡を中心に」

細谷葵(お茶の水女子大学)・小林正史(北陸学院大学)・庄田慎矢(奈良文化財研究所)・西田泰民(新潟県立歴史博物館)・村上由美子(京都大学)

話題4:「同位体生態学からみた長江下流域新石器時代の稲作農耕文化」

米田穰(東京大学)・覚張隆史(金沢大学)・板橋悠(東京大学)

17:00~18:00 論文賞記念行事(中央ホール)

表彰

記念講演1:「福井県鳥浜貝塚周辺における縄文時代草創期から前期の植生史と植物利用」

吉川昌伸・吉川純子・能城修一・工藤雄一郎・佐々木由香・鈴木三男・網谷克彦・鯉本真友美

記念講演2:「Vegetation history of Japan since the last glacial based on palynological data.

(花粉分析に基づいた日本における最終氷期以降の植生史)」

大井信夫

18:30~21:00 懇親会:古民家居酒屋ほっこり(宮崎市旭1-3-12 <http://www.hokkorimiyazaki.com/blank-1>)

12月3日(日) 一般研究発表(口頭・ポスター), 総会

9:00~11:00 口頭発表(中央ホール)

11:00~12:00 総会(中央ホール)

12:00~13:00 昼食

13:00~14:30 ポスター発表(周辺ギャラリー)

14:30~16:30 口頭発表(中央ホール)

◆ 一般研究発表, 大会参加, 懇親会, 巡検(第43回談話会)の申込期限

一般研究発表:10月2日(月)

一般研究発表要旨:10月23日(月)厳守

大会・懇親会・巡検(第43回談話会):10月31日(火)

◆ 申込方法

学会 Web サイトの「大会情報」 (<http://hisbot.jp/meetings/upcomingmeeting>) にある『申込フォーム』に以下の事項を記入しお申込み下さい。

- ①氏名・所属, ②連絡先(住所, 電話番号, 電子メールアドレス), ③会員種別(一般会員/学生会員/非会員), ④懇親会の参加/不参加, ⑤12/4(月)巡検の参加/不参加, ⑥一般研究発表の有無。

一般研究発表をされる方は, 次の項目もご記入下さい:

- ⑦発表形式(口頭/ポスター), ⑧発表タイトル, ⑨氏名・所属(連名の場合, 発表者の左側に○印を付ける: 申込者が非会員の場合, 連名の会員の方の氏名を記入する), ⑩優秀発表賞エントリーの有無,

- ⑪発表分野(A「生態, 古生態, 環境変動」/B「人と植物の関係史」/C「分類・系統, 生物地理」)

※一般研究発表について申込時の内容でプログラムを作成しますので, 変更は受け付けません。

※優秀発表賞につきまして, 今大会においても実施いたします。学生会員の方は自動的にエントリーされますが, 一般会員の方はエントリー制とします。皆様の優れた研究発表をお待ちしております。

一般研究発表要領

口頭発表: 時間は質疑応答を含め 15 分を予定。発表の際はパワーポイント(Win・Mac 双方対応)をご使用下さい。

ポスター発表: ポスターボードは, 幅 85cm, 高さ 120cm (A0 縦対応) を予定しています。ポスター発表者はコアタイム開始時に, 番号順にポスター前で 2 分間の説明していただきます。

※申込み多数の場合, 口頭発表/ポスター発表の変更をお願いすることもあります。

要旨執筆要領

一般研究発表の要旨を以下の執筆要領にしたがい作成し, その PDF ファイルを第 32 回大会実行委員会の電子メールアドレス (taikai32@hisbot.jp) に送付して下さい (MS-Word など他の形式のファイルは不可)。

執筆要領に沿っていない要旨は受け付けできませんのでご注意ください。

1. 原稿サイズは A4 (縦置き・横書き) で, 2 ページ以内とする。
2. 原稿には上下 3cm ずつ, 左右 2.5cm ずつの余白を取る。
3. 原稿の行数および 1 行の文字数は自由だが, 1 ページあたり 38 行×45 文字程度を目安とする。
4. 要旨中に図表を挿入しても良い。ただし, 600dpi のモノクロ印刷で判読が可能なものに限る。
5. 提出する PDF ファイルのサイズは 3.0MB 以内とする。
6. 提出する PDF ファイルは Adobe Acrobat Reader 4.0 かそれ以降のバージョンで表示および印刷できるものとする。
7. 要旨集の編集作業を行うため, 提出する PDF ファイルにパスワードなどのセキュリティ設定をしない。「印刷」, 「テキストとグラフィックの選択」, 「文章の変更」, 「注釈とフォームフィールドの追加と変更」などは“許可”にする。
8. 提出された原稿はそのままモノクロ印刷するため, 作成した PDF ファイルを各自で印刷し, 文字や図表に充分な解像度があるか, 文字化けなどがないかを提出前に必ず確認する。

◆ 巡検 (第 43 回日本植生史学会談話会) のご案内

テーマ: 「綾ユネスコエコパーク巡検」

内容: 綾 (宮崎県綾町) には, 日本最大規模の照葉樹自然林が残されています。同町を流れる綾川流域は, 照葉樹林帯の北限 (東アジア) に近く, 多くの日本固有種が現存し, 特に高標高域ではブナが優占する自然林を見ることができます。同地域は, 平成 24 年にユネスコエコパークに登録され, 原生的な森林生態系の保護, 照葉樹自然林の復元, 自然と共生する地域づくり等の取組が行われています。今回の巡検では, 綾の吊り橋コースと大森岳または川中の見学コースを綾町照葉樹林文化推進専門監にご案内いただきながら, 綾の森の魅力と特徴を学びます。

案内人：河野耕三（綾町照葉樹林文化推進専門監）

世話人：宇田津徹朗，杉山真二

日程：2017年12月4日（月）：バス移動

8:40に「宮崎観光ホテル」と9:00に「宮崎駅東口」でバスに乗車

9:45 綾町役場着

10:00～15:00 綾の吊り橋コースと大森岳あるいは川中の見学コース

※見学の順序とコース組合せは、当日の天候および参加者によって調整します。

※吊り橋はかなり高い(高さ142m)ので、高所が苦手な方はご留意下さい。

※吊橋コースは一周約2km（標高100～200m）遊歩道で、林齢約135年(中に約50年生二次林含む)の森(シイイチイガシ林)の中を歩きます。

※大森岳コースは標高500～600m付近の林齢約190年の森(イスノキ-アカガシ林)の中を走る林道で、途中下車しながら車で移動します。

【川中コースは、今回は予備あるいはオプションとして考えています】

12:00 昼食

15:30 綾町役場を出発

16:20 宮崎駅で一部解散

17:00 宮崎空港で解散

参加費：4,000円程度（昼食代込み）※バスの借り上げ価格によって変動あり

定員：30名

申込期限：10月31日（火）（定員に達した場合、期限日より前に締切ることがあります。）

申込方法：大会申込時に学会Webサイトの「大会情報」（<http://hisbot.jp/meetings/upcomingmeeting>）にある『申込フォーム』からお申し込み下さい。

学会ニュース

● 《重要なお知らせ》 学会事務局の変更について

2018年度（2017年10月1日）より学会事務局が変更となります。

10月1日以降の入会・異動・退会の申込み、バックナンバーの購入、メーリングリストアドレスの登録・変更、メーリングリストへの投稿記事などは、以下の新事務局にご連絡ください。

新事務局：

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12

新宿ラムダックスビル

（株）春恒社 学会事業部内 日本植生史学会事務局

TEL03-5291-6231 FAX03-5291-2176

Mail: hisbot-office01@shunkosha.com

● 会費納入のお願い

2017年度の会費納入にご協力下さい。

日本植生史学会会費（2010年度より）一般会員：6,000円・学生会員：3,000円・シニア会員：3,000円・団体会員：8,000円・賛助会員：一口20,000円とし一口以上とする。会費納付先：郵便振替口座 00980-8-70087 加入者名 日本植生史学会

● 異動・所属変更に伴う会員情報変更のお願い

学生会員及び一般会員の方で、異動、所属変更等があった方は、以下の日本植生史学会事務局へのご連絡下さい。

事務局：

●連絡・問合せ 庶務幹事 鈴木伸哉 〒206-0033 東京都多摩市落合1-14-2 東京都埋蔵文化財センター
TEL：042-374-8044 庶務：hbmain@hisbot.jp 会誌投稿：journal@hisbot.jp

●NL編集 ホームページ・企業広告問い合わせ 広報・渉外幹事 井上 淳 広報・渉外：hbnews@hisbot.jp

●入会・異動・退会の申し込み、バックナンバーの購入、メーリングリストアドレスの登録・変更、NL発行
〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内 日本植生史学会事務局

Tel：03-5307-1175 Fax：03-5307-1196 Mail：hisbot@univcoop.or.jp

(この事務局は9月30日までとなります。10月1日以降は上述の新事務局にご連絡ください。)

● 学会ホームページ <http://hisbot.jp/>